別紙2-2（その他）

＊ 変更の場合は変更年月日の当該月分、更新の場合は更新月分

従業者の勤務の体制及び勤務形態一覧表(予定・実績表)　（ 27 年4月分）

記入例(2)

サービス提供者の指定基準又は報酬体系上算定する人員配置体制を記載する。

18（平均実利用者数）÷10（人員配置基準）＝1．8人（小数点第2以下切上げ）

就労継続支援Ｂ型	事業所・施設名	ワークショップあいち	主たる・従たるの別又は共同生活住
定員 ※2 20人	前年度の平均利用者数 ※3 18.0人	基準上の必要職員数 ※4 1.8人	
人員配置区分 10:1	平均障害支援区分 ※6	【GHのみ】入居者の区分別人数 ※7	区分3　区分4　区分5　区分6

管理者がサービス管理責任者等と兼務する場合は、従事時間を分けること。（管理者は原則2分の1以上）

新規指定（又は6月未満）の場合は定員×0.9
指定後6月以上の場合は実績値を算定シート（別紙33）により算出

生活介護のみ記入要
算出表（別紙31）により算出

ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ以外は記入不要

従業者の職種	資格 ※10		氏名		第1週 1	2	3	4	5	6	7	第2週 8	9	10	11	12	13	14	第3週 15	16	17	18	19	20	21	第4週 22	23	24	25	26	27	28	第5週 29	30	31	4週の合計 ※12	週平均の勤務時間	他の事業所の名称及び職名 ※13	他事業所での合計勤務時間数 ※14
					木	金	土	日					木	金	土	日									水	木	金	土	日	月	火	水	木					
管理者	①	精神保健福祉士	愛知　三郎	予定	8	8	8			8	8	8	8	8			8	8	8	8	8			8	8	8	8			8	8		8			168	40		
				実績	8	8	8			8	8	8	8	8			8	8	8	8	8			8	8	8	8			8	8		8			168	40		
サービス管理責任者	①	介護福祉士	福　健介	予定	8	8	8			8	8	8	8	8			8	8	8	8	8			8	8	8	8			8	8		8			168	40		
				実績	8	8	8			8	8	8	8	8			8	8	8	8	8			8	8	8	8			8	8		8			168	40		
生活支援員	①	精神保健福祉士	背戸　海生	予定	8	8	8			8	8	8	8	8			8	8	8	8	8			8	8	8	8			8	8		8			168	40		
				実績	8	8	8			8	8	8	8	8			8	8	有	8	8			8	8	8	8			8	8		8			168	40		
生活支援員	③	介護福祉士	森増　水子	予定	6	6				6	6	6	6				6	6	6	6				6	6	6				6	6		6			96	22.5	作業所なごや・職業指導員	132
				実績	6	6				6	6	6	6				6	欠	欠	6				6	6	6				6	6		6			78	18.2		
職業指導員	③		健福　次郎	予定	8		8			8		8		8			8		8		8			8		8				8						96	24		
				実績	8		4			8		8		8			8		8		8			8		8				8						88	20.5		
看護師	③	看護師	高冷　福子	予定		4							4							4					4								4			20	4		
				実績		4							4							4					4								4			20	4		

常勤職員の勤務すべき時間数 ※15	1日：8時間　分　1週：40時間　分	変形労働時間制 無・有（1か月単位・1年単位　対象職種：　労基
サービス提供時間	9：30～15：30　夜間支援時間帯※7 ：～：	変形期間（当月1日が属する期間を記載）：　月　日～　月　日　左の期間の常勤の勤務すべき時

変形労働時間制を採用している場合は「有」に○を付け、（ ）と下段に必要事項を記入する。第5週まで勤務時間を記載し「4週の合計」欄には第5週までの合計を記入する。

※ 事業所において勤務表として使用する際は、**変形労働時間制の有無に関わらず、予定・実績欄とも第5週まで**の時間数を記入してください。

従業者の職種・員数	職種 専従・兼務の別		サービス管理責任者 専従	兼務	看護職員 専従	兼務	生活支援員 専従	兼務	職業指導員 専従	兼務	世話人 専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	
常勤（人）	①	②	1				1										←適
非常勤（人）	③	④			1		1		1								
当該職種の勤務延べ時間数（A）	予定		168		20		264		96								←4週
	実績		168		20		246		88								
当該職種の常勤が勤務すべき時間数（B）			168		168		168		168								←4週(又は1月)の合計数
常勤換算後の人数（A／B）	予定		1.0		0.0		1.5		0.5								←小数第2位以下切り捨て
	実績		1.0		0.0		1.4		0.5								

サービス提供職員の合計常勤換算後人数：2．1人（＝354時間÷168時間、小数点第2位以下切捨て）＞1．8人（基準上の必要職員数）となり、基準を満たしている。

注1） 本表は、居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護及び移動支援以外の事業所について作成してください。
注2） 指定申請変更届等で本市へ提出する際は、**予定欄のみ**※12のとおり時間数を記入してください。また、事業所において勤務表として使用する際は、予定・実績欄とも第5週までの時間数を記入してください。
※1 **従たる事業所**がある場合又は複数のサービス提供単位を設置している場合、本表は各々の事業所・単位で作成するものとし、この欄にそれぞれの名称を記載してください。またGHにおいて、同一敷地内（近接地を含む。）の共同生活住居の入居定員の合計数が**21人以上**となる場合であって、世話人及び生活支援人の勤務体制を共同生活住居の間で明確に区分している場合には、本表を勤務体制を区分している共同生活住居ごとに作成するものとし、当該住居名をこの欄に記入してください。
※2 「**定員**」欄は、当該サービス種類に係る定員を記入してください。また、※1において事業所別又はサービス提供単位別に本表を作成する場合は、それぞれの定員を記入してください。
※3 「**前年度の平均利用者数**」欄は、「平均利用者数算定シート」（別紙33）により算定した数値（小数点第2位以下切り上げ）を記入してください。新規・再開の場合は定員の90%を、これらにより難い場合は適切な推計数を記入してください。
※4 「**基準上の必要職員数**」欄は、基準上又は人員配置体制上必要なサービス提供職員の人数（小数点第2位以下切り上げ）を記入してください。【職種により基準が異なる場合は**職種ごと**に記載すること】
※5 「**人員配置区分**」欄は、基準上又は人員配置体制上の人員配置体制を記入してください。（2.5：1、7.5：1など）
※6 「**平均障害支援区分**」欄は、生活介護を実施する場合に「平均障害支援区分の算出」（別紙31）により算出された利用者の平均障害支援区分の数値を記入してください。
※7 「**入居者の区分別人数**」欄は、**共同生活援助**を実施する場合に入居者の障害支援区分別の人数（別紙33（その2）により算出された人数）を記入してください。「**夜間支援時間帯**」欄は加算Ⅰ・Ⅱを算定する場合に記入してください。
※8 「職種」欄は、当該事業所・施設に係る全ての職種を、職種ごとに並べて記載してください。**【GHで世話人・生活支援員等が「夜間支援従業者」として配置される場合は同一従業者ごとに2段書きとすること】**
※9 「**勤務形態**」欄は、①常勤・専従、②常勤・兼務、③非常勤・専従、④非常勤・兼務のいずれかを記号で記載するものとし、職種ごとにこの順でまとめて記載してください。育児短時間勤務者の場合は「①短」「②短」と表記してください。
※10 「**資格**」欄は、従業者の職種に関する資格の種類を記載してください。
※11 ※11の欄は、当該月の**曜日**を記入してください。
※12 **変形労働時間制**を採用している場合のみ、**第5週まで**時間数を記入し、「4週の合計」欄には第5週までの合計を記入してください。
※13 「**他の事業所の名称及び職名**」欄は、同一法人内の他事業所で兼務する者について、その事業所名称及び職名を記載してください。
※14 「**他事業所での合計勤務時間数**」欄は、他の事業所での4週間（又は1月間）の合計勤務時間数を記載してください。
※15 「**常勤職員の勤務すべき時間数**」欄は、当該事業所・施設における常勤職員の勤務すべき時間数を記載し、変形労働制を採用している場合はその内容を記載してください。

同一法人内で複数事業所に勤務し、それぞれに時間数を分けて勤務する方は、法人として「常勤雇用」であっても、この表の勤務形態では「**③非常勤専従**」となります。また、その方は※13の欄に勤務する事業所名と職名を記入し、※14の欄にその時間数を記入します。当該事業所の中で複数の職種を兼ね、その合計時間数が常勤の時間数に満たない方は「④非常勤兼務」となります。